

令和 3 年度（2021 年度）
熊本連携中枢都市圏アライグマ生息状況調査
業務委託

報告書

令和 4 年 3 月

株式会社 地域環境計画 九州支社

目 次

1. 業務概要	1
1.1 業務名	1
1.2 業務目的	1
1.3 履行期間	1
1.4 履行場所	1
2. 業務内容	2
2.1 フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置	2
2.2 事前検討	2
3. 調査結果	6
3.1 調査実施状況	6
3.2 アライグマ確認概況	24
3.3 熊本市	47
3.4 宇土市	50
3.5 宇城市	51
3.6 玉東町	55
3.7 その他の確認種	56
4. 考察	57
4.1 熊本県内におけるアライグマの確認状況整理	57
4.2 アライグマ確認環境の傾向	61
4.3 今後のアライグマ対策	64
5. 打合せ及び報告	64

1. 業務概要

1.1 業務名

令和 3 年度（2021 年度）熊本連携中枢都市圏アライグマ生息状況調査業務委託

1.2 業務目的

熊本県内におけるアライグマは、平成 22 年に熊本市南区で初めて確認されて以降、徐々に県内で生息を拡大しており、増加傾向にある。熊本市に隣接する周辺地域での確認情報も増加しており、生息数の増加や生息域の拡大が示唆される。今後は甚大な被害（農業被害・生活被害・生態系被害）が発生するおそれがあることから、生息状況を的確に把握し、対策を講じることが重要である。

本業務は、熊本連携中枢都市圏構成市町村のうち、3 市 1 町を対象にフィールドサイン調査及び自動撮影カメラ設置を実施し、アライグマについて広域的に生息状況及び被害状況を把握し、侵入監視を行うことにより、アライグマの防除対策に資することを目的とした。

1.3 履行期間

令和 3 年（2021 年）7 月 27 日より令和 4 年（2022 年）3 月 31 日まで

1.4 履行場所

熊本市、宇土市、宇城市、玉東町（図 1.1 参照）

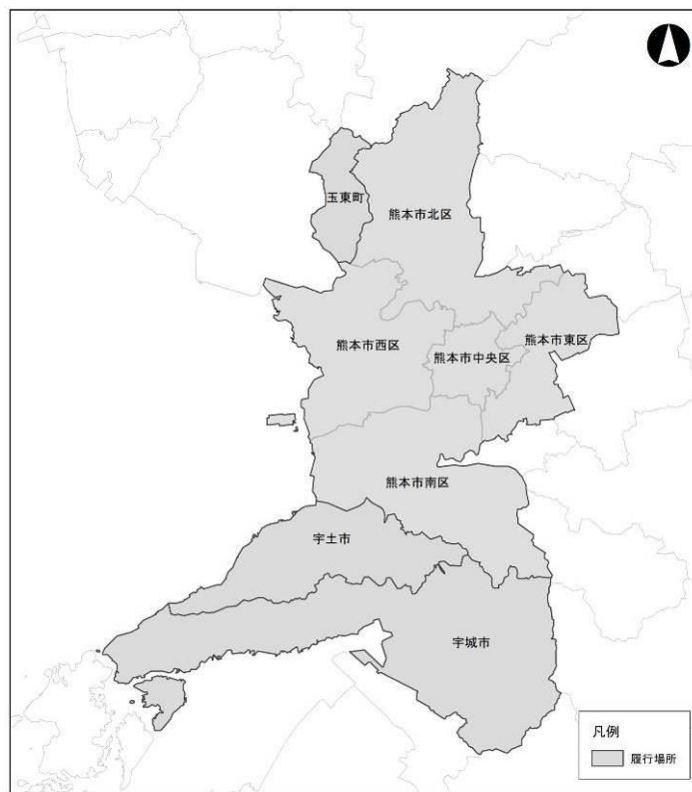


図 1.1 履行場所

2. 業務内容

2.1 フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置

アライグマの生息の可能性がある箇所においてフィールドサイン（足跡・爪跡・糞・食痕等）調査及び自動撮影カメラ（以下、「カメラ」とする）設置による生息状況調査を実施した。

フィールドサイン調査、カメラの設置台数、カメラ設置期間は以下のとおり。

- ・熊本市：フィールドサイン調査 11 人日以上、カメラの設置台数 25 台以上、カメラ設置期間 150 日以上
- ・宇土市：フィールドサイン調査 10 人日以上、カメラの設置台数 20 台以上、カメラ設置期間 150 日以上
- ・宇城市：フィールドサイン調査 11 人日以上、カメラの設置台数 25 台以上、カメラ設置期間 150 日以上
- ・玉東町：フィールドサイン調査 5 人日以上、カメラの設置台数 10 台以上、カメラ設置期間 150 日以上

調査箇所の選定及び調査手法については、委託者又は履行場所市町担当者と協議し、その指示に従うとともに、有識者（森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏）へヒアリングを実施し、意見を伺った。ヒアリング概要を以下に示し、詳細は資料編に示す。

調査に用いるカメラ及び必要な機材等は受託者が準備し、設置にあたっては設置箇所の所有者もしくは管理者に了承を得た。また、カメラを設置する際は、調査目的等を明示し、誘引剤をカメラの近くに設置した。

森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏からの助言〈概要〉

- ・竹林内の獣道、水場近くの墓地周辺にカメラを設置すると良いのではないかと。
- ・納屋や廃屋は昼間の隠れ家として利用している可能性がある。
- ・加勢川や緑川の三日月湖周辺の竹林にも着目すると良い。

2.2 事前検討

（1）確認状況の整理

熊本県内におけるアライグマの確認状況を整理し、調査実施箇所の検討を行った。

業務開始時における熊本県内でのアライグマ確認数を表 2.1 に、履行場所 3 市 1 町における確認状況を表 2.2 に示す。

表 2.1 熊本県内におけるアライグマの確認状況

(令和 3 年 6 月 23 日時点)

市町	確認年度												
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 /R1	R2	R3	合計
荒尾市				1									1
南関町								2	2				4
和水町									3		1		4
玉名市					1		1	1	11	13			27
山鹿市						1	3	1	5	3	6	1	20
菊池市					1				2		7	4	14
玉東町									10	2	3	1	16
熊本市	1							3	9	19	44	3	79
大津町									1				1
菊陽町											1		1
益城町							1				1		2
御船町		1	1										2
甲佐町											1		1
宇土市									1				1
宇城市						1		2			1		4
小国町					4								4
高森町						1				1			2
南阿蘇村												1	1
山都町								1					1
芦北町											1		1
水俣市											1		1
天草市									1				1
合計	1	1	1	1	6	3	5	10	45	38	67	10	188

※塗りつぶし箇所は本業務における履行場所

表 2.2 履行場所 3 市 1 町におけるアライグマの確認状況

市町	確認場所
熊本市	(北 区) 植木町山本、同町平原、同町豊岡、同町鈴麦、和泉町 (西 区) 河内町河内、西松尾町 (中央区) 島崎 (東 区) 下江津 (南 区) 城南町阿高、同町鰐瀬、富合町平原、日吉、野田
宇土市	岩古曾町
宇城市	松橋町竹崎、同町曲野、三角町大田尾、豊野町糸石
玉東町	上木葉、浦田、上白木

(2) 調査箇所の選定

これまでの確認状況を考慮し、調査実施エリアを選定した。選定した調査実施エリアを表 2.3 及び図 2.1 に示す。

選定した調査箇所において、移動経路となることが想定される河川等の水域、餌場としての利用が想定される果樹園や耕作地、湿地、ため池等の環境、ねぐら等の利用が想定される樹林地といった多様な環境が複合的に存在する箇所に着目して、調査を実施した。

表 2.3 調査実施エリア

調査実施エリア	カメラ設置台数 (予定)
木葉山周辺	玉東町 : 10 台 熊本市 (北区) : 10 台
金峰山周辺	熊本市 (西区) : 7~8 台
雁回山周辺	熊本市 (南区) : 7~8 台 宇土市 : 10 台 宇城市 : 10 台
宇土半島	宇土市 : 10 台 宇城市 : 10 台
宇城市南部	宇城市 : 5 台
その他	適宜設置

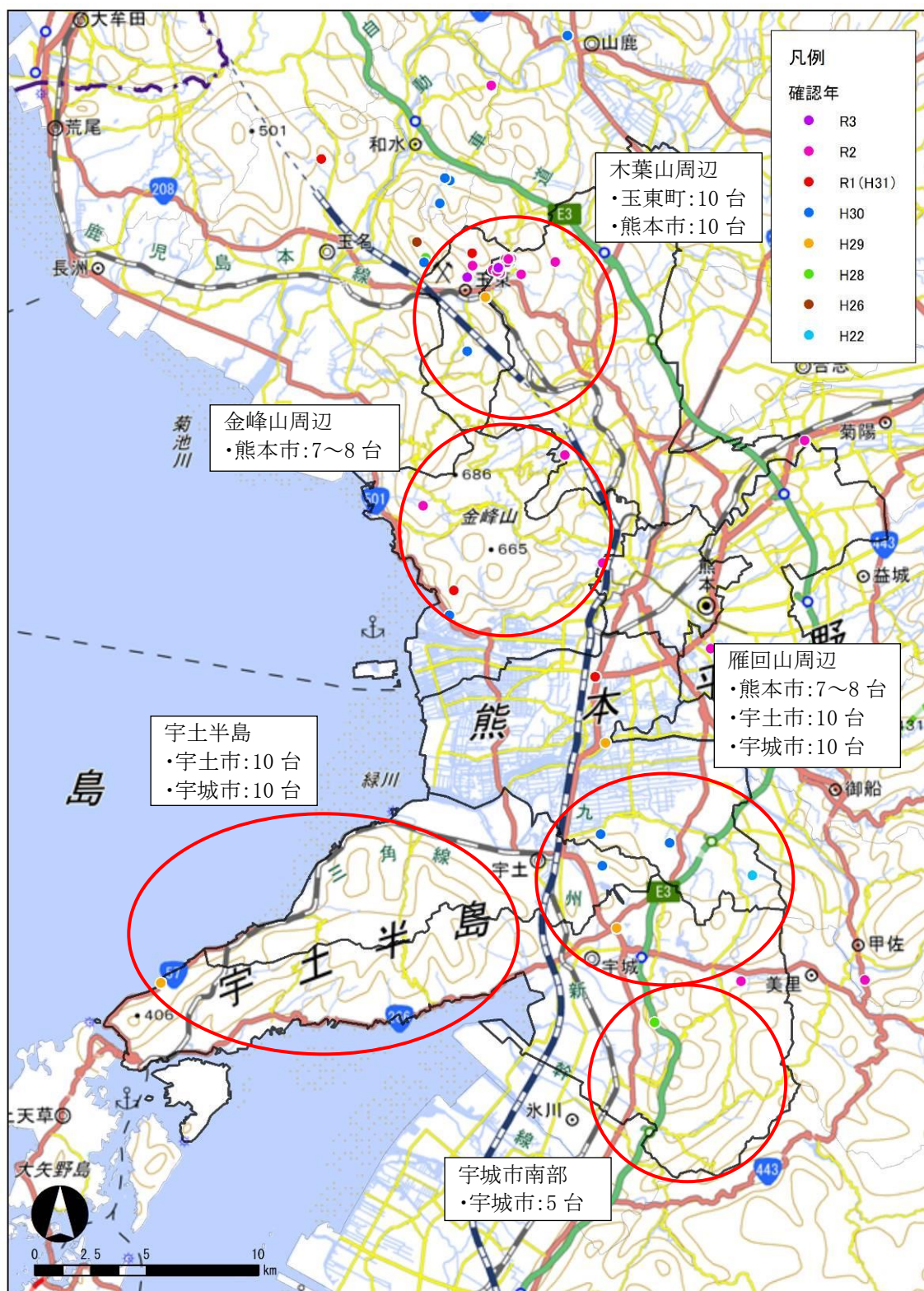


図 2.1 調査地点の選定結果

3. 調査結果

3.1 調査実施状況

フィールドサイン調査調査の実施状況を表 3.1 に、自動撮影カメラの設置状況を表 3.2～表 3.5 に示す。

表 3.1 調査実施日

市町	調査実施日	延べ調査人工数
熊本市	8/18, 8/27, 8/31, 9/2, 9/10, 9/22, 9/24, 10/22, 11/11, 12/2, 1/6	11 人日
宇土市	8/20 (2 人) , 9/24, 10/27, 10/28, 12/21, 2/4, 2/22, 2/28, 3/5	10 人日
宇城市	8/19, 9/1, 9/16, 9/21, 10/14, 11/3, 12/21, 1/6, 2/4, 2/22, 2/28, 3/5	12 人日
玉東町	8/25 (2 人) , 10/22, 10/29, 12/2	5 人日

表 3.2 自動撮影カメラ設置状況（熊本市）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
北 01	32° 55′ 52.45″	130° 38′ 53.99″	2021/8/27	2022/3/31	216	
北 02	32° 55′ 39.39″	130° 38′ 42.67″	2021/8/27	2022/3/31	216	
北 03	32° 55′ 36.16″	130° 38′ 33.46″	2021/8/27	2022/3/31	216	
北 04	32° 55′ 31.05″	130° 38′ 45.1″	2021/8/27	2022/3/31	216	
北 05	32° 55′ 4.86″	130° 39′ 32.64″	2021/9/22	2022/3/31	190	
北 06	32° 55′ 15.65″	130° 39′ 36.98″	2021/9/22	2022/3/31	190	
北 07	32° 56′ 10.01″	130° 40′ 17.75″	2021/8/31	2022/3/31	212	
北 08	32° 55′ 46.21″	130° 40′ 27.18″	2021/8/27	2022/3/31	216	
北 09	32° 55′ 29.38″	130° 40′ 21.4″	2021/10/22	2022/3/31	160	
北 10	32° 54′ 41.03″	130° 40′ 8.11″	2021/10/22	2022/3/31	160	
北 11	32° 51′ 30.57″	130° 41′ 11.68″	2021/9/24	2022/3/31	188	
北 12	32° 51′ 17.61″	130° 40′ 45.70″	2021/11/11	2022/3/31	140	北 14 から移動 合計 188 日
北 13	32° 51′ 5.14″	130° 40′ 32.19″	2021/8/31	2022/3/31	212	
北 14	32° 51′ 12.41″	130° 40′ 29.45″	2021/9/24	2021/11/11	48	北 12 へ移動 合計 188 日
西 01	32° 50′ 4.32″	130° 36′ 15.5″	2021/9/24	2022/3/31	188	
西 02	32° 49′ 16.44″	130° 36′ 38.45″	2021/9/24	2021/12/2	69	西 06 へ移動 合計 188 日
西 03	32° 49′ 46.66″	130° 38′ 30.19″	2021/9/24	2022/3/31	188	
西 04	32° 47′ 50.82″	130° 37′ 16.77″	2021/9/10	2022/3/31	202	
西 05	32° 47′ 4.22″	130° 38′ 16.15″	2021/9/24	2022/3/31	188	
西 06	32° 49′ 33.24″	130° 35′ 33.64″	2021/12/2	2022/3/31	119	西 02 から移動 合計 188 日
南 01	32° 41′ 49.48″	130° 41′ 9.45″	2021/9/2	2022/3/31	210	
南 02	32° 41′ 53.26″	130° 41′ 21.93″	2021/9/22	2022/3/31	190	
南 03	32° 42′ 7.73″	130° 41′ 39.04″	2021/9/22	2022/3/31	190	
南 04	32° 42′ 14.93″	130° 42′ 5.18″	2021/9/22	2022/3/31	190	
南 05	32° 42′ 0″	130° 42′ 22.35″	2021/9/22	2022/3/31	190	
南 06	32° 41′ 46.44″	130° 42′ 56.24″	2021/9/2	2022/3/31	210	
南 07	32° 41′ 42.61″	130° 43′ 18.96″	2021/9/22	2022/3/31	190	

表 3.3 自動撮影カメラ設置状況（宇土市）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
宇土 01	32° 41′ 39.20″	130° 40′ 57.51″	2021/10/28	2022/2/18	113	宇土 21 に移動 合計 150 日
宇土 02	32° 41′ 18.40″	130° 41′ 15.66″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 03	32° 41′ 01.17″	130° 41′ 52.62″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 04	32° 40′ 39.90″	130° 42′ 22.29″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 05	32° 40′ 24.03″	130° 41′ 31.77″	2021/10/28	2022/3/5	128	宇土 22 に移動 合計 154 日
宇土 06	32° 39′ 39.05″	130° 40′ 45.22″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 07	32° 40′ 06.24″	130° 40′ 43.15″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 08	32° 40′ 51.35″	130° 38′ 08.66″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 09	32° 40′ 21.40″	130° 38′ 31.35″	2021/10/28	2022/3/31	154	
宇土 10	32° 41′ 44.05″	130° 36′ 26.45″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 11	32° 40′ 03.46″	130° 35′ 37.60″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 12	32° 40′ 18.76″	130° 35′ 28.40″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 13	32° 40′ 09.49″	130° 34′ 33.05″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 14	32° 39′ 06.97″	130° 31′ 25.42″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 15	32° 41′ 08.74″	130° 33′ 54.22″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 16	32° 40′ 30.00″	130° 33′ 47.06″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 17	32° 42′ 05.46″	130° 35′ 19.51″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 18	32° 40′ 25.15″	130° 41′ 11.78″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 19	32° 40′ 19.64″	130° 41′ 05.66″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 20	32° 40′ 11.49″	130° 40′ 56.29″	2021/10/27	2022/3/31	155	
宇土 21	32° 40′ 37.22″	130° 39′ 55.56″	2022/2/22	2022/3/31	37	宇土 01 から移動 合計 150 日
宇土 22	32° 40′ 41.84″	130° 40′ 27.28″	2022/3/5	2022/3/31	26	宇土 05 から移動 合計 154 日

表 3.4 自動撮影カメラ設置状況（宇城市）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
豊野 01	32° 39′ 46.14″	130° 46′ 18.54″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 02	32° 39′ 26.54″	130° 45′ 49.32″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 03	32° 39′ 7.69″	130° 45′ 39.05″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 04	32° 38′ 36.13″	130° 46′ 20.38″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 05	32° 38′ 5.09″	130° 46′ 31.01″	2021/8/19	2022/3/31	224	
豊野 06	32° 37′ 59.6″	130° 45′ 39.96″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 07	32° 37′ 27.9″	130° 46′ 1.5″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 08	32° 36′ 45.1″	130° 45′ 18.68″	2021/9/21	2022/1/6	107	豊野 11 へ移動 合計 191 日
豊野 09	32° 39′ 8.16″	130° 44′ 14.62″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 10	32° 37′ 52.44″	130° 44′ 3.45″	2021/9/21	2022/3/31	191	
豊野 11	32° 38′ 12.60″	130° 46′ 40.43″	2022/1/6	2022/3/31	84	豊野 08 から移動 合計 191 日
松橋 01	32° 40′ 38.09″	130° 43′ 3.68″	2021/9/1	2022/3/31	211	
松橋 02	32° 39′ 47.29″	130° 42′ 3.28″	2021/9/1	2021/12/21	111	松橋 02' へ移動 合計 211 日
松橋 02'	32° 39′ 52.61″	130° 42′ 21.69″	2021/12/21	2022/2/28	69	松橋 02 から移動 松橋 02'' へ移動 合計 211 日
松橋 02''	32° 39′ 53.14″	130° 42′ 11.83″	2022/2/28	2022/3/31	31	松橋 02' から移動 合計 211 日
松橋 03	32° 39′ 8.79″	130° 42′ 11.33″	2021/9/21	2022/3/31	191	
松橋 04	32° 38′ 26.53″	130° 43′ 21.45″	2021/9/21	2022/3/31	191	
松橋 05	32° 37′ 23.7″	130° 42′ 58.86″	2021/9/21	2022/3/31	191	
不知火 01	32° 39′ 52.7″	130° 39′ 28.68″	2021/10/14	2022/3/31	168	
不知火 02	32° 39′ 30.56″	130° 39′ 14.26″	2021/10/14	2022/3/31	168	
不知火 03	32° 39′ 29.13″	130° 38′ 50.35″	2021/10/14	2022/3/31	168	
不知火 04	32° 39′ 19.95″	130° 38′ 34.6″	2021/10/14	2022/3/31	168	
不知火 05	32° 38′ 52.6″	130° 38′ 33.94″	2021/10/14	2022/2/28	137	不知火 07 へ移動 合計 168 日
不知火 06	32° 38′ 49.4″	130° 39′ 43.14″	2021/10/14	2022/3/31	168	
不知火 07	32° 38′ 44.43″	130° 35′ 26.96″	2022/2/28	2022/3/31	31	不知火 05 から移動 合計 168 日
三角 01	32° 38′ 22.56″	130° 28′ 59.37″	2021/10/14	2022/3/31	168	
三角 02	32° 37′ 52.91″	130° 28′ 47.38″	2021/10/14	2022/3/31	168	
三角 03	32° 37′ 38.09″	130° 29′ 22.64″	2021/10/14	2022/3/31	168	
三角 04	32° 37′ 6.33″	130° 28′ 41.86″	2021/10/14	2022/3/31	168	

表 3.5 自動撮影カメラ設置状況（玉東町）

地点名	緯度	経度	設置日	終了日	設置 日数	備考
玉東 01	32° 55′ 30.19″	130° 36′ 40.63″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 02	32° 55′ 18.93″	130° 37′ 11.41″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 03	32° 55′ 41.16″	130° 37′ 59.02″	2021/8/25	2022/3/16	203	
玉東 04	32° 56′ 00.48″	130° 37′ 57.12″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 05	32° 55′ 44.18″	130° 38′ 16.98″	2021/8/27	2022/3/31	216	
玉東 06	32° 55′ 14.24″	130° 38′ 16.21″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 07	32° 54′ 39.23″	130° 38′ 31.05″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 08	32° 53′ 54.55″	130° 38′ 27.51″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 09	32° 54′ 12.21″	130° 37′ 11.25″	2021/10/29	2022/3/31	153	
玉東 10	32° 52′ 55.76″	130° 38′ 24.27″	2021/8/25	2022/3/31	218	

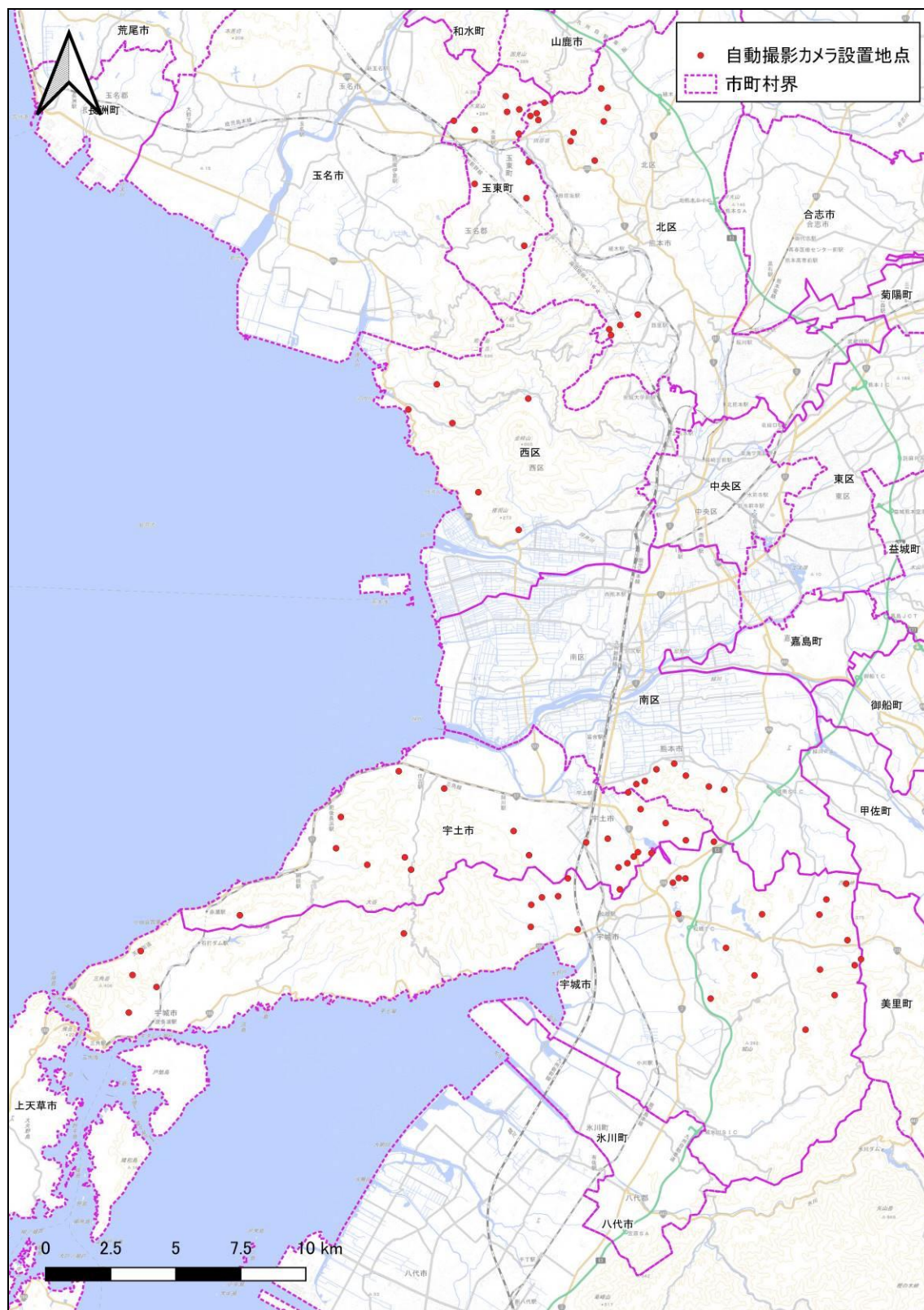


図 3.1 自動撮影カメラ設置位置（調査範囲全体）

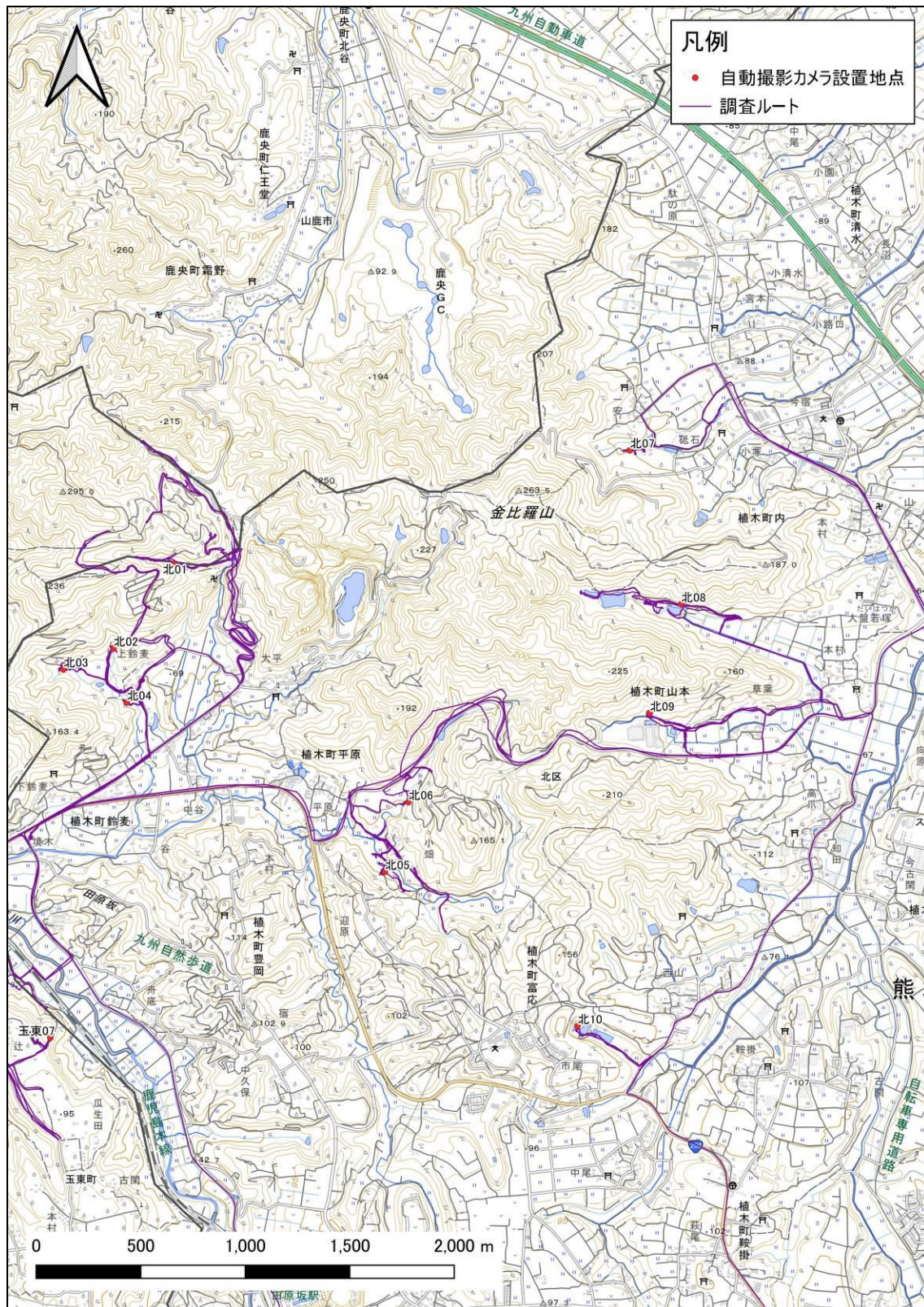


図 3.2 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 1/4 ）北区植木町 10 台

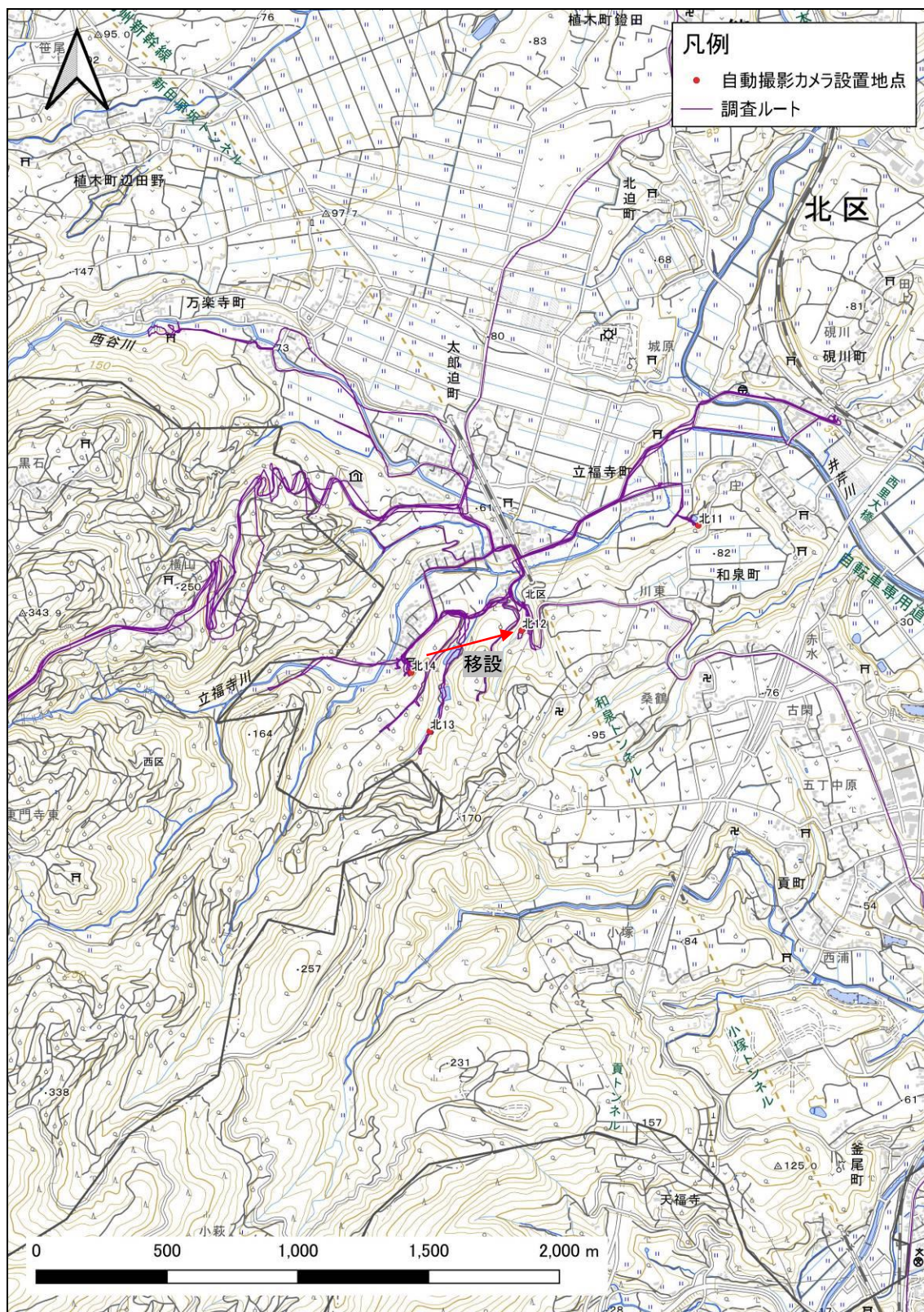


図 3.3 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 2/4）北区立福寺町周辺 3 台

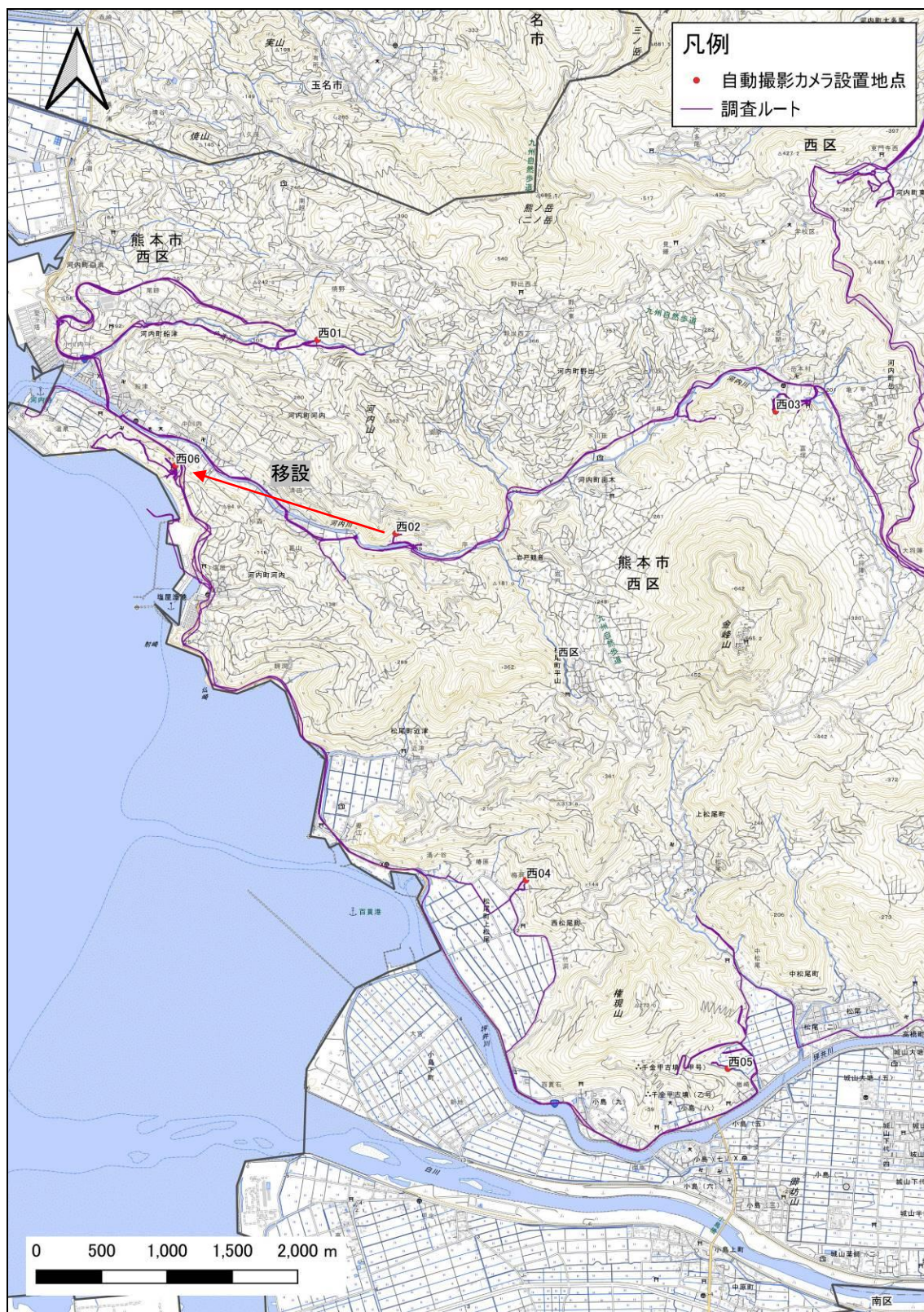


図 3.4 自動撮影カメラ設置位置（熊本市 3/4）西区 5 台

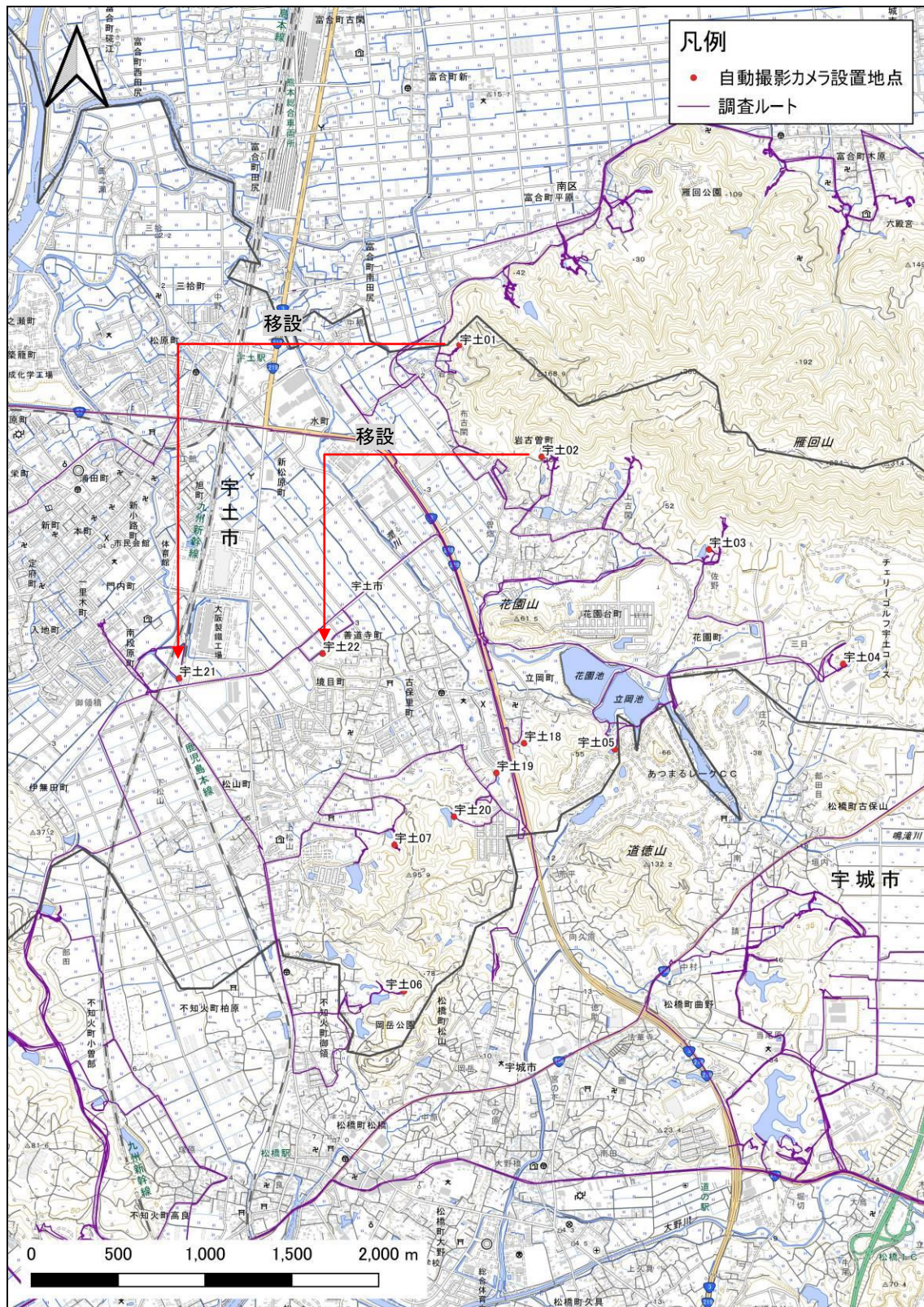


図 3.6 自動撮影カメラ設置位置（宇土市 1/3）10 台

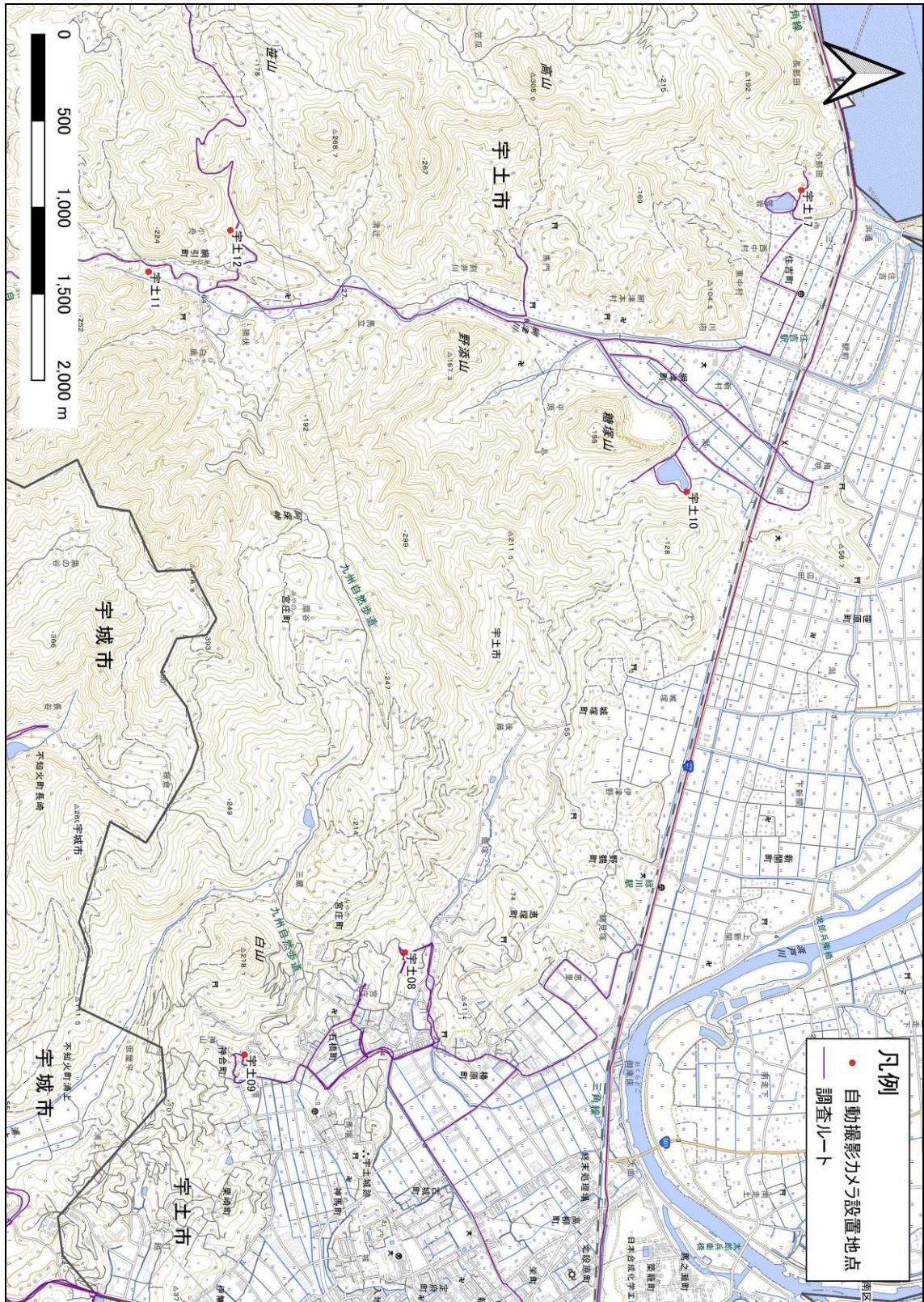


図 3.7 自動撮影カメラ設置位置（宇土市 2/3）6 台

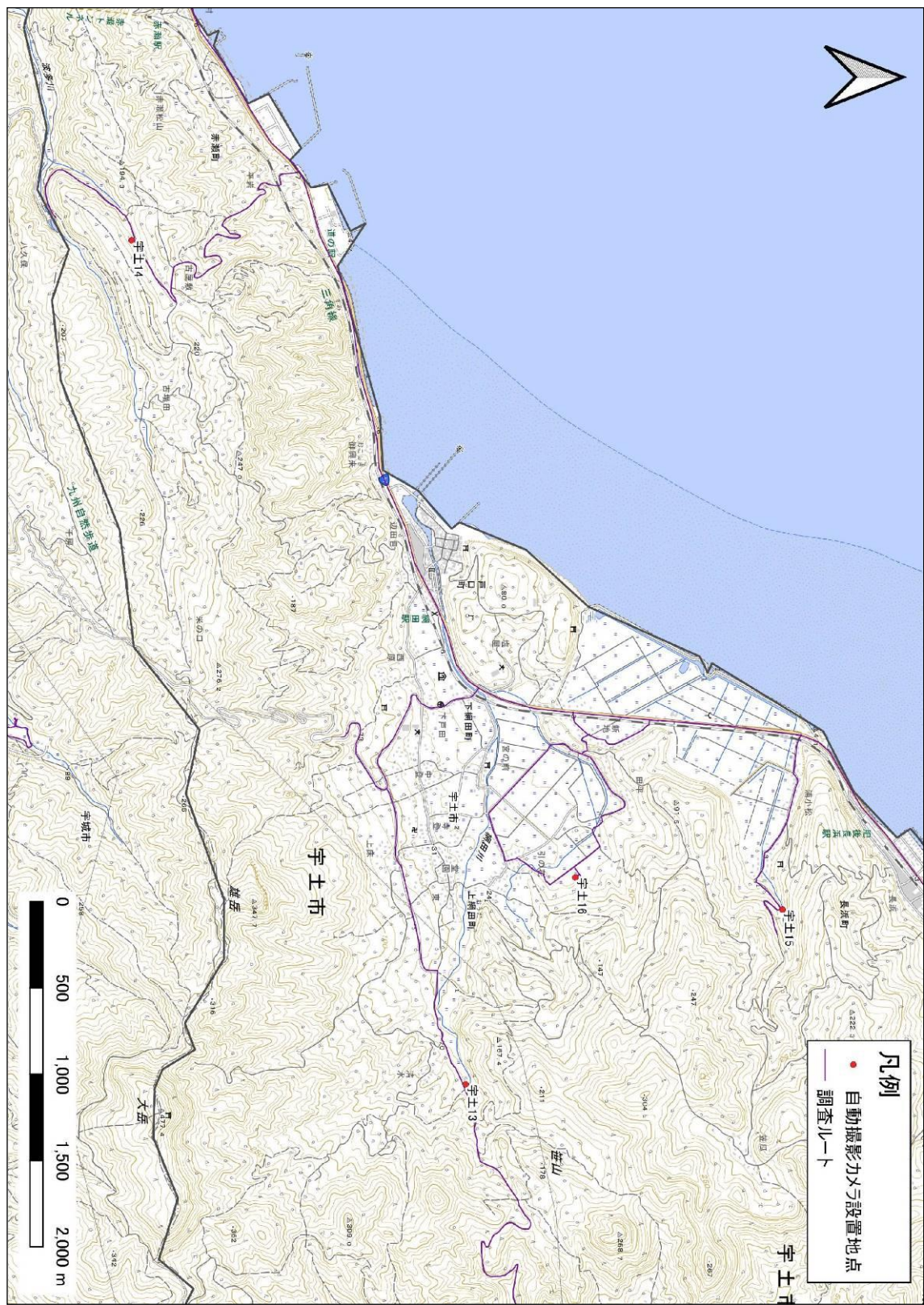
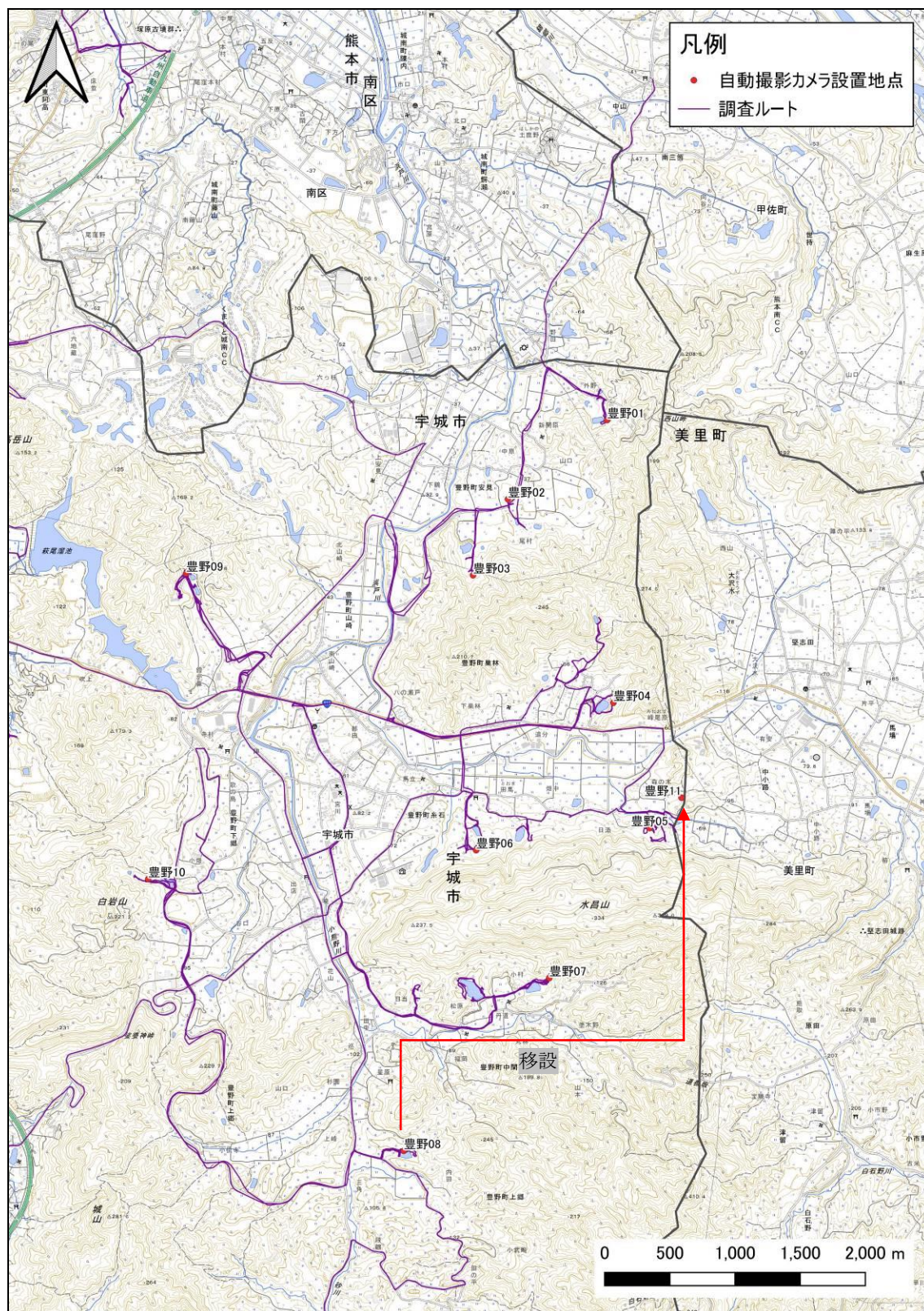


図 3.8 自動撮影カメラ設置位置（宇土市 3/3）4 台



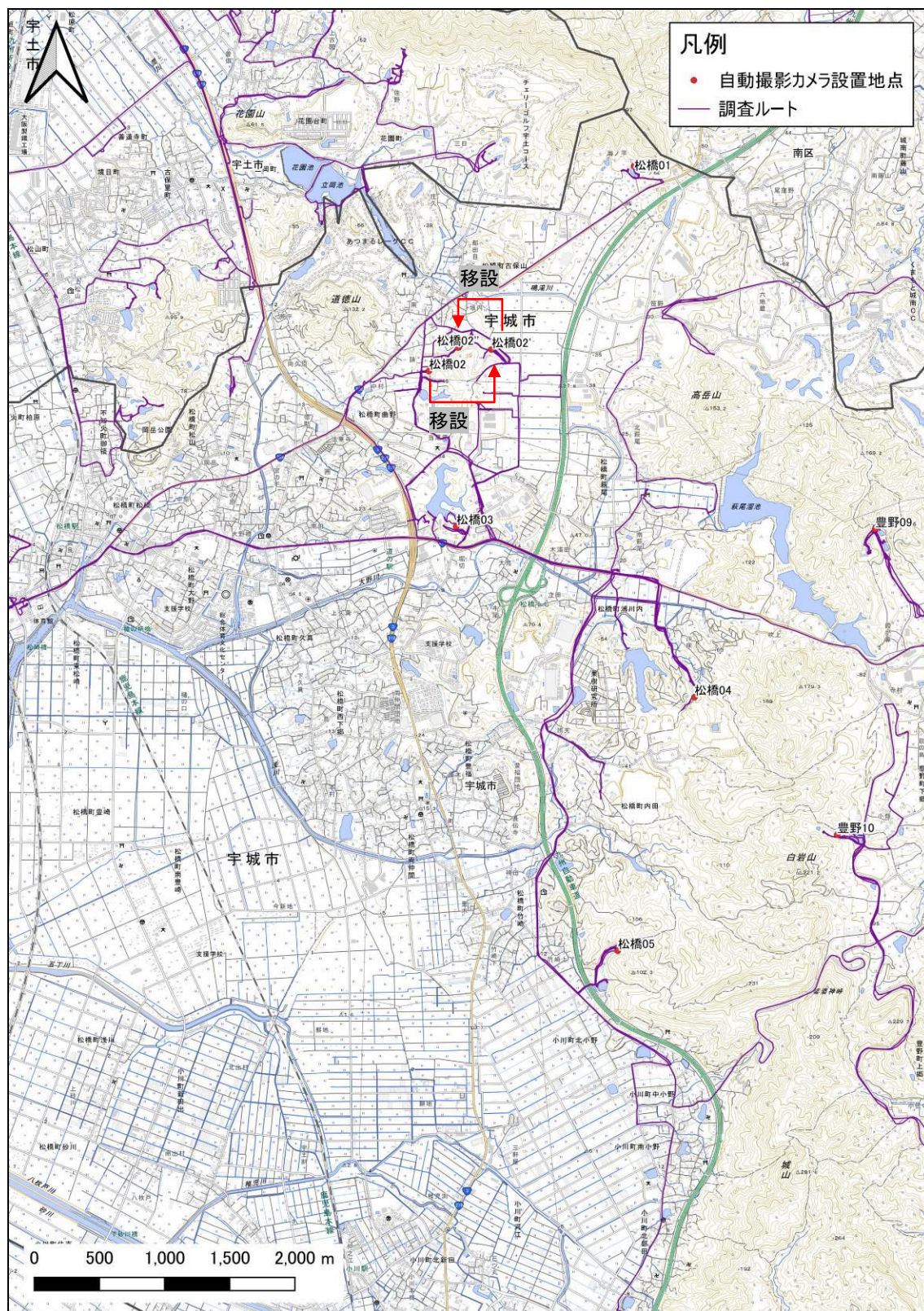


図 3.10 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 2/4）松橋 5 台

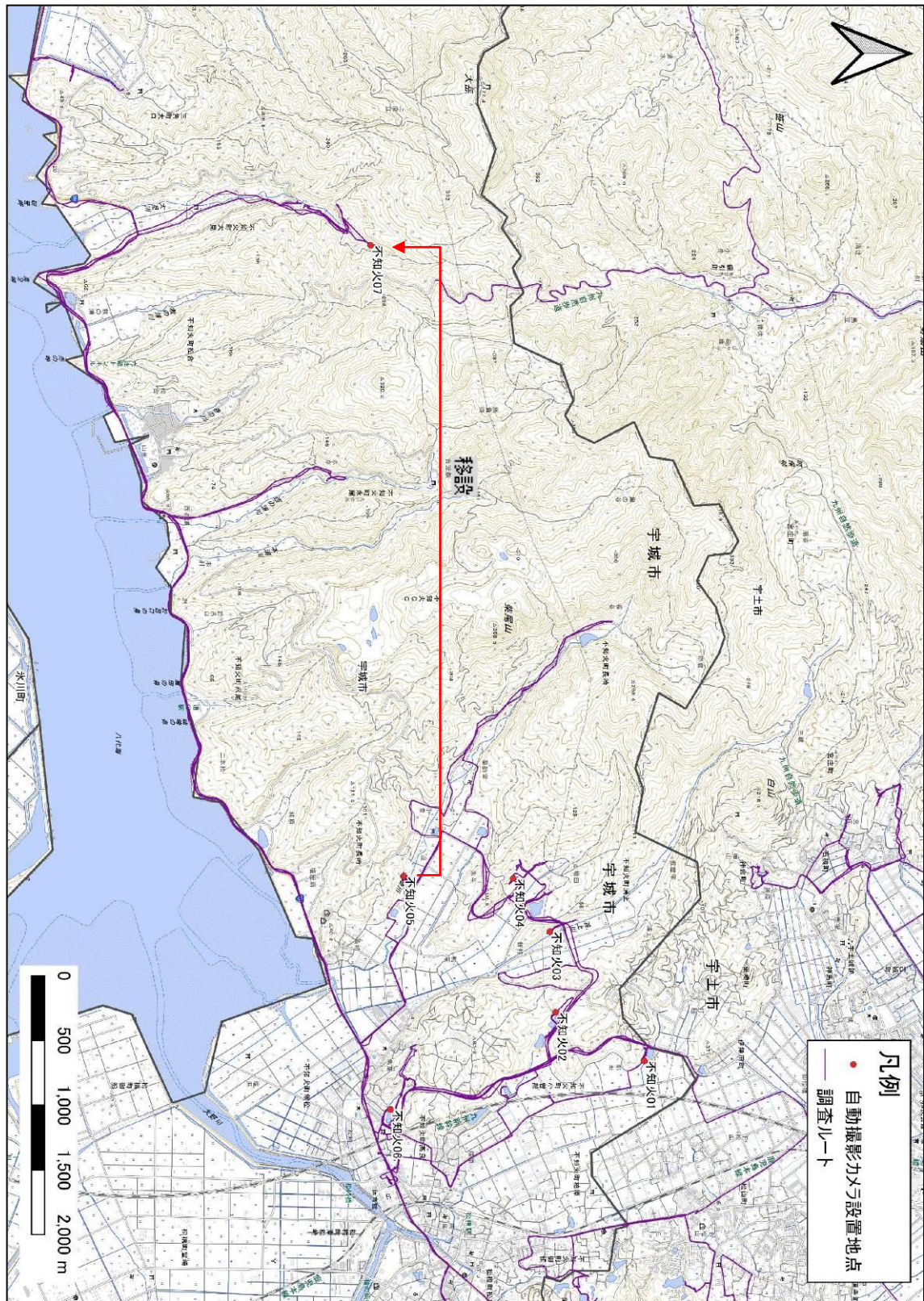


図 3.11 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 3/4）不知火 6 台

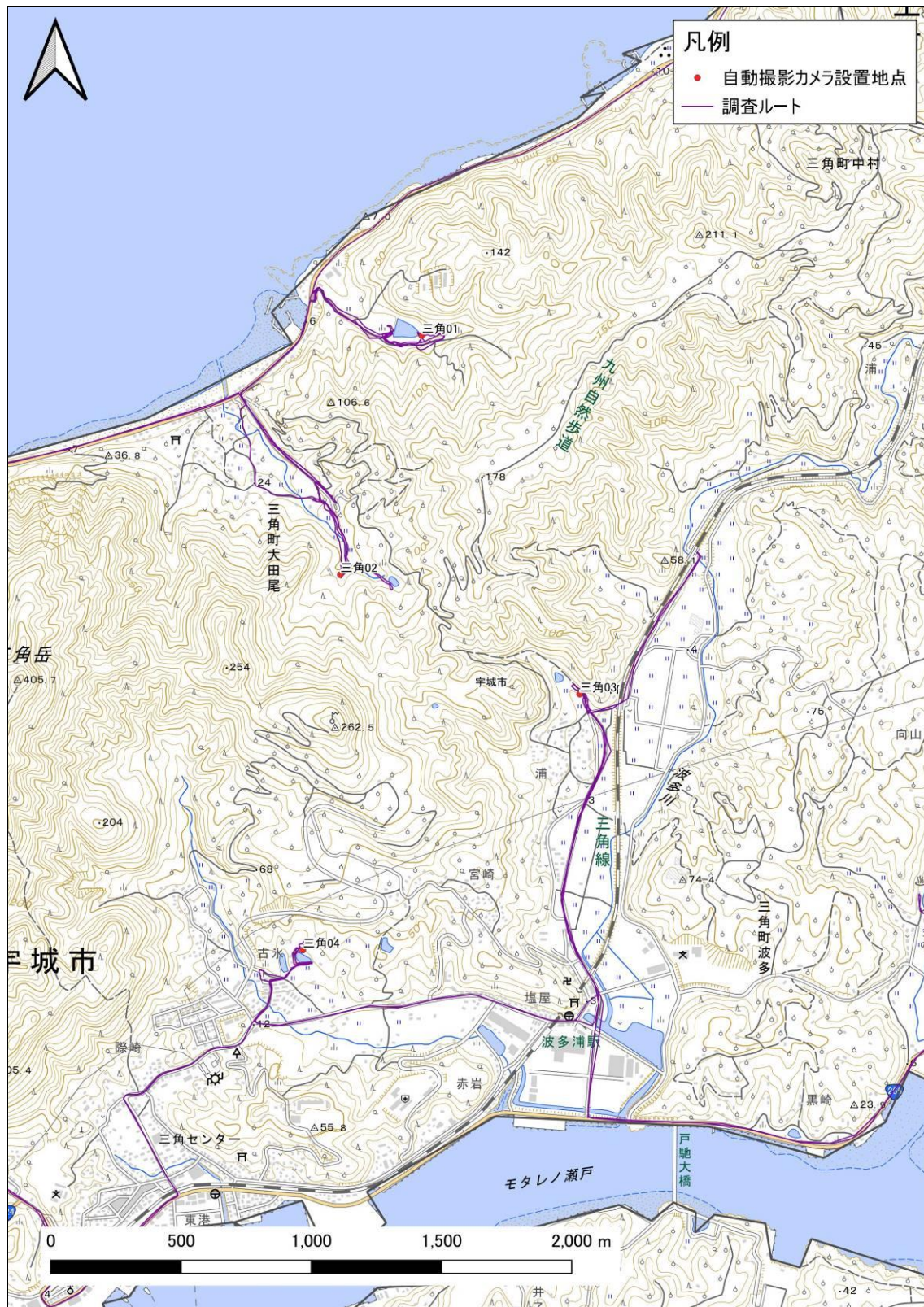


図 3.12 自動撮影カメラ設置位置（宇城市 4/4）三角 4 台

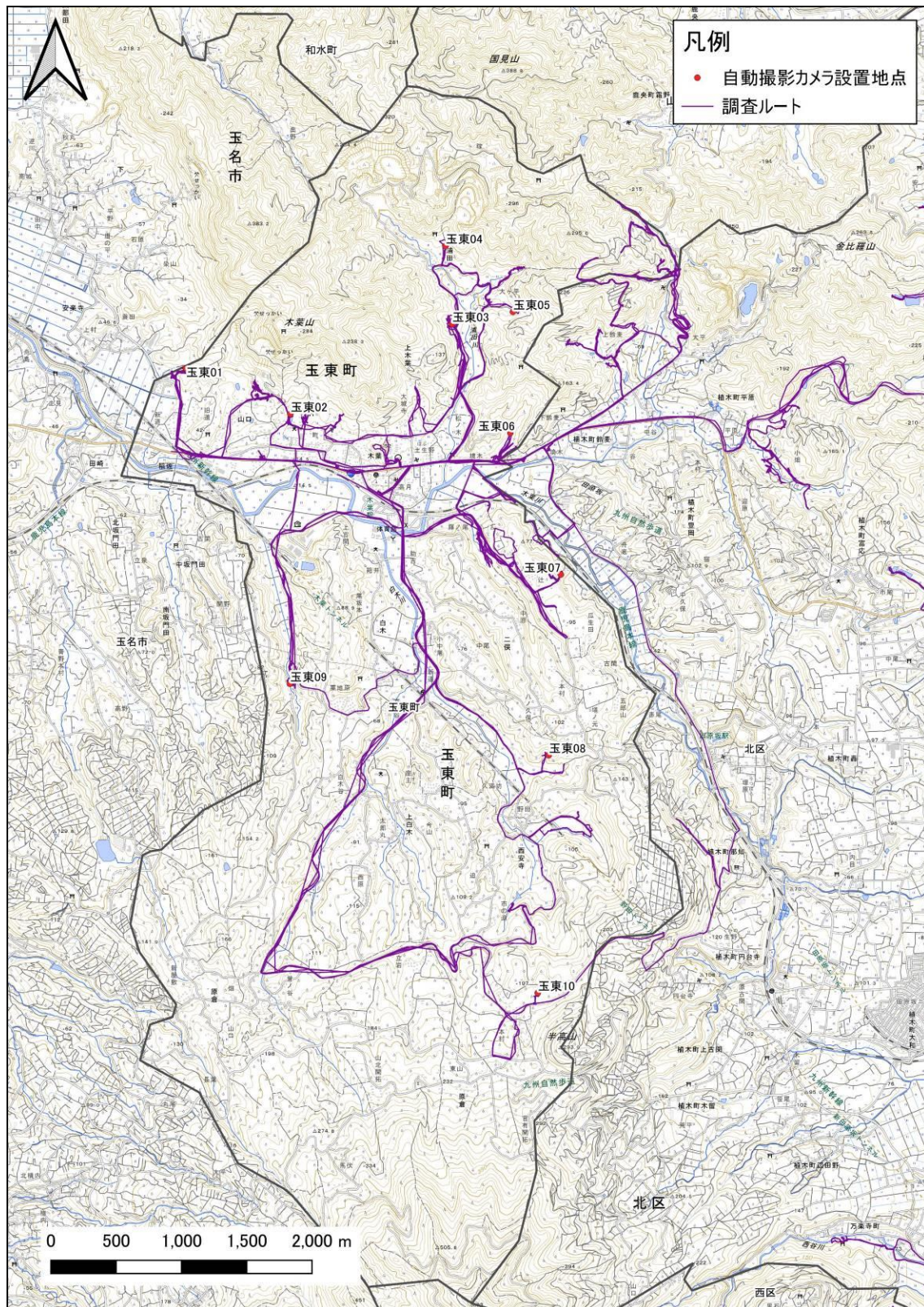


図 3.13 自動撮影カメラ設置位置（玉東町）10 台

3.2 アライグマ確認概況

フィールドサイン調査の結果、アライグマの足跡が玉東町で1例、宇城市で1例確認された。足跡を確認した地点については、地権者の了承を得た上で、足跡確認場所周辺に自動撮影カメラを設置した。

自動撮影カメラによる生息状況調査では、熊本市で25回、宇城市で6回、玉東町で1,672回（うち1,627回は玉東03地点）、計1,703回アライグマが撮影された^{注1}。

なお、宇土市では足跡の確認や個体の撮影はなかった。

各市町のアライグマの確認状況一覧を表3.6に、痕跡の確認状況を表3.7に、撮影状況を表3.8～表3.27に示す。

表 3.6 各市町のアライグマ確認状況一覧

対象市町	撮影回数	足跡
熊本市	25	0
宇城市	6	1
宇土市	0	0
玉東町	1672	1
計	1703	2

表 3.7 アライグマの痕跡の確認状況

確認日	場所	確認方法	画像	備考
R3/8/26	玉東町 上木葉	足跡		自動車修理工場の敷地内で確認。地権者の許可を得てカメラを設置（玉東03）
R3/8/30	宇城市 松橋町 曲野	足跡		水田にて確認。地権者の了承を得て、カメラを設置（松橋02）

^{注1} 複数頭撮影された場合も1回とする。

表 3.8 アライグマ撮影状況（熊本市）1/4

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/8/30	北 02	撮影	1 頭×1 回	
R3/8/30	北 03	撮影	1 頭×1 回	
R3/9/10	北 08	撮影	1 頭×1 回	
R3/10/06	北 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/10/06	北 08	撮影	1 頭×2 回 2 頭×1 回	

表 3.9 アライグマ撮影状況（熊本市）2/4

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/10/19	北 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/10/20	西 03	撮影	1 頭×3 回	
R3/10/27	北 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/11/10	西 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/11/11	西 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.10 アライグマ撮影状況（熊本市）3/4

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/11/23	西 01	撮影	1 頭×2 回	
R3/12/01	北 11	撮影	1 頭（不鮮明） ×1 回	
R3/12/10	北 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/12/28	西 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/1/22	西 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.11 アライグマ撮影状況（熊本市）4/4

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/2/11	北 07	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/25	西 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/9	北 12	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/28	北 13	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/28	北 13	撮影	1 頭×1 回	

表 3.12 アライグマ撮影状況（宇城市）1/2

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/10/15	不知火 06	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/12	三角 04	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/16	三角 04	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/20	三角 04	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/23	三角 04	撮影	1 頭×1 回	

表 3.13 アライグマ撮影状況（宇城市）2/2

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/3/21	三角 04	撮影	1 頭×1 回	

表 3.14 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、 玉東 06）1/5

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/11/11	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/11/12	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/11/15	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.15 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、 玉東 06） 1/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/11/23	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R3/11/25	玉東 01	撮影	1 頭×2 回	
R3/11/29	玉東 01	撮影	1 頭×2 回	
R3/11/29	玉東 06	撮影	1 頭×2 回	
R3/12/07	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.16 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 2/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/12/16	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/1/25	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/10	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/16	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/21	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.17 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 3/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/2/24	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/2/26	玉東 01	撮影	1 頭×2 回	
R4/3/3	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/6	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/9	玉東 01	撮影	1 頭×2 回	

表 3.18 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 4/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/3/18	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/19	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/21	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/21	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/21	玉東 02	撮影	1 頭×1 回	

表 3.19 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 5/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/3/24	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/24	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/26	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/26	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/27	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.20 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 6/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/3/27	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/28	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/28	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/29	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/29	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.21 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 7/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/3/29	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.22 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 01、玉東 02、玉東 06） 8/8

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	
R4/3/30	玉東 01	撮影	1 頭×1 回	

表 3.23 アライグマ撮影状況（玉東町：玉東 03） 1/7

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
R3/8/28 R3/8/29	玉東 03	撮影	1 頭×13 回 2 頭×9 回 3 頭×3 回 4 頭×5 回 5 頭×2 回	
(9 月第 1 週) R3/9/1 R3/9/2 R3/9/3 R3/9/4 R3/9/5	玉東 03	撮影	1 頭×11 回 2 頭×30 回 ^{注2} 3 頭×2 回 4 頭×8 回	
(9 月第 2 週) R3/9/6 R3/9/7 R3/9/10	玉東 03	撮影	1 頭×13 回 2 頭×12 回	
(9 月第 3 週) R3/9/13 R3/9/14 R3/9/15 R3/9/16 R3/9/17 R3/9/18 R3/9/19	玉東 03	撮影	1 頭×34 回 2 頭×7 回	

^{注2} 9 月 5 日にアライグマ 2 頭が、画角内に設置した箱わなで捕獲された。2 頭撮影 30 回のうち 10 回は、わなで捕獲された状態の撮影である。なお、アライグマは翌朝わなから脱走した。

表 3.24 アライグマ撮影状況（玉東町:玉東 03） 2/7

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
(9 月第 4 週) R3/9/24 R3/9/25 R3/9/26	玉東 03	撮影	1 頭×16 回	
(9 月第 5 週) R3/9/27 R3/9/28 R3/9/30	玉東 03	撮影	1 頭×14 回 2 頭×2 回	
(10 月第 1 週) R3/10/1 R3/10/2	玉東 03	撮影	1 頭×10 回 2 頭×3 回	
(10 月第 2 週) R3/10/8	玉東 03	撮影	1 頭×4 回 2 頭×2 回	
(10 月第 3 週) R3/10/13 R3/10/15 R3/10/17	玉東 03	撮影	1 頭×8 回 2 頭×8 回	

表 3.25 アライグマ撮影状況（玉東町 03） 3/7

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
(10 月第 4 週) R3/10/19	玉東 03	撮影	1 頭×2 回	
(10 月第 5 週) R3/10/26 R3/10/27	玉東 03	撮影	1 頭×10 回 2 頭×4 回	
(11 月第 1 週) R3/11/2 R3/11/3	玉東 03	撮影	1 頭×16 回	
(11 月第 2 週) R3/11/11	玉東 03	撮影	1 頭×13 回 2 頭×6 回	
(11 月第 3 週) 確認なし (11 月第 4 週) R3/11/23 R3/11/24	玉東 03	撮影	1 頭×13 回	

表 3.26 アライグマ撮影状況（玉東町 03） 4/7

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
(11 月第 5 週) R3/11/29	玉東 03	撮影	1 頭×10 回 2 頭×7 回	
(12 月第 1 週) R3/12/3 R3/12/4	玉東 03	撮影	1 頭×26 回 2 頭×2 回	
(12 月第 2 週) R3/12/6 R3/12/9 R3/12/10 (12 月第 3 週) 確認なし	玉東 03	撮影	1 頭×16 回	
(12 月第 4 週) R3/12/20 R3/12/21 R3/12/22 R3/12/25 R3/12/26	玉東 03	撮影	1 頭×33 回 2 頭×15 回	
(12 月第 5 週) R3/12/28	玉東 03	撮影	1 頭×9 回 2 頭×14 回	

表 3.27 アライグマ撮影状況（玉東町 03） 5/7

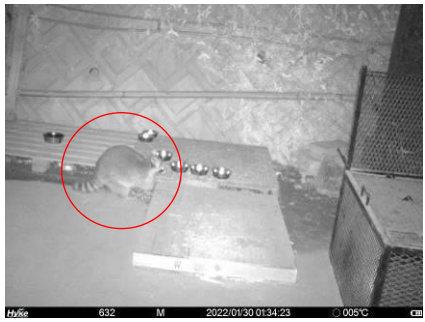
確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
(1 月第 1 週) R4/1/2 R4/1/3 R4/1/6 R4/1/7	玉東 03	撮影	1 頭×24 回	
(1 月第 2 週) R4/1/10	玉東 03	撮影	1 頭×18 回	
(1 月第 3 週) R4/1/17 R4/1/20 R4/1/21	玉東 03	撮影	1 頭×41 回	
(1 月第 4 週) R4/1/25 R4/1/26 R4/1/27 R4/1/28 R4/1/29 R4/1/30	玉東 03	撮影	1 頭×77 回	
(2 月第 1 週) R4/2/2 R4/2/3 R4/2/4 R4/2/6	玉東 03	撮影	1 頭×79 回	

表 3.28 アライグマ撮影状況（玉東町 03） 6/7

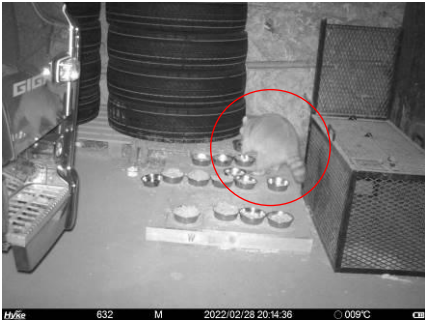
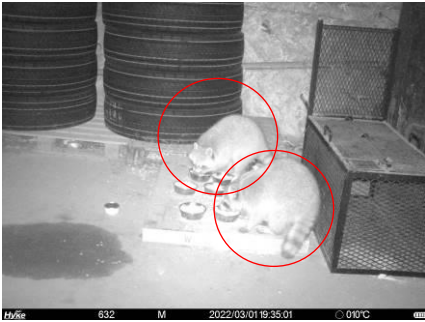
確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
(2 月第 2 週) R4/2/7 R4/2/9 R4/2/10 R4/2/11 R4/2/12 R4/2/13	玉東 03	撮影	1 頭×96 回	
(2 月第 3 週) R4/2/14 R4/2/17 R4/2/18 R4/2/19	玉東 03	撮影	1 頭×23 回 2 頭×18 回	
(2 月第 4 週) R4/2/21 R4/2/23 R4/2/24 R4/2/25 R4/2/26	玉東 03	撮影	1 頭×166 回 2 頭×48 回	
(2 月第 5 週) R4/2/28	玉東 03	撮影	1 頭×60 回	
(3 月第 1 週) R4/3/1 R4/3/3 R4/3/4 R4/3/5 R4/3/6	玉東 03	撮影	1 頭×155 回 2 頭×94 回	

表 3.29 アライグマ撮影状況（玉東町 03） 7/7

確認日	場所	確認方法	確認内容	画像
(3 月第 2 週) R4/3/8 R4/3/9 R4/3/11 R4/3/12	玉東 03	撮影	1 頭×240 回 2 頭×48 回	
R4/3/14 R4/3/15	玉東 03	撮影	1 頭×8 回 2 頭×20 回	

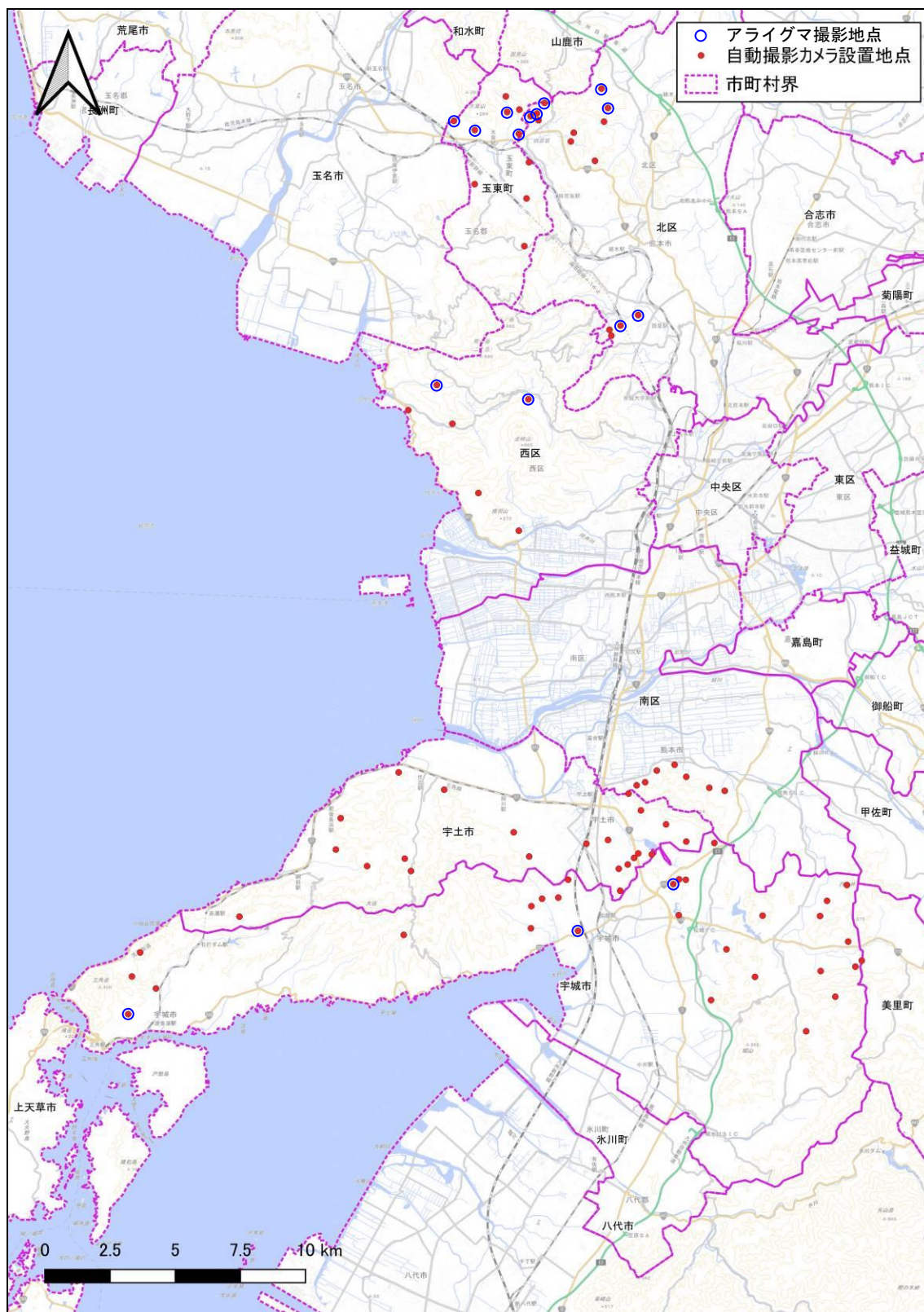


図 3.14 アライグマ確認位置

3.3 熊本市

① 北区

過去に確認記録のある植木町や立福寺町周辺における耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施した結果、立福寺町の伊邪那岐神社にてアライグマの可能性のある爪痕が確認された。

これまでの確認状況や上記痕跡確認箇所等に自動撮影カメラを設置した結果、植木町の5地点（北01、北02、北03、北07、北08）、立福寺町・和泉町の3地点（北11、北12、北13）でアライグマが撮影された。爪痕の確認された立福寺町の伊邪那岐神社（北14）ではアライグマは撮影されなかった。

植木町は以前から継続的に確認されている鈴麦地区（北01、北02、北03）、昨年度から確認されている山本地区（北08）に加え、新たに清水地区（北07）で確認された。北07での確認は1回のみであったが、徐々に生息域を拡大していると考えられる。

南部の立福寺町・和泉町で確認された3箇所では、確認数は少ないが、確認時期が12月、3月と繁殖に向けて定着する時期であるほか、和泉町では10月に捕獲もされていることから、複数個体が定着している可能性が示唆された。



伊邪那岐神社の爪痕



爪痕確認地点（伊邪那岐神社）



地区環境（ため池）



地区環境（沢）

② 西区

過去に確認記録のある地域や他地域からの侵入の可能性がある場所を中心に耕作地や果樹園、沢、寺社等の環境でフィールドサイン調査を実施したが、確実な痕跡は確認されなかった。

これまでの確認状況等を考慮して、自動撮影カメラを設置した結果、河内町船津（西 01）、河内町岳（西 03）の 2 箇所にてアライグマが撮影された。調査期間途中にて、地域住民（地元猟師）から河内町河内にて目撃情報が得られたことから、河内阿蘇神社脇の竹林内に自動撮影カメラ（西 06）を設置したが、アライグマは撮影されなかった。

河内町船津（西 01）では、撮影後に捕獲、再度撮影、捕獲と複数個体の生息が確認されており、さらには過年度に捕獲された場所にも近いことから、周囲に多くの個体が生息している、または小責川沿い等で個体が侵入しやすい立地にある等が考えられる。

河内町岳は河内川に面した金峰山山麓部に位置する。河内川沿いに侵入してきた個体、または金峰山付近に生息していた個体等が考えられるが、撮影後に捕獲されており、その後の撮影はないことから、現状においては付近に生息個体はいないと考えられる。

また、過年度に確認されている南部の西松尾町周辺にも自動撮影カメラ（西 04、西 05）を設置したが、撮影はされなかった。



地区環境（果樹園）



地区環境（沢）



地区環境（河川）



地区環境（寺社：河内阿蘇神社）

③ 南区

過去に確認記録のある雁回山周辺における耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境及び加勢川沿いの三日月湖周辺でフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は得られなかった。

これまでの確認状況等を考慮して、雁回山山麓部において自動撮影カメラを設置したが、アライグマは撮影されなかった。

雁回山周辺では平成 30 年を最後に確実な確認が途絶えている。詳細な状況は不明であるが、捕獲されたという情報もないことから、付近には生息している可能性はあり、今後の個体数増加には注意が必要である。



地区環境（ため池）



地区環境（沢）



地区環境（竹林）



地区環境（三日月湖周辺）

3.4 宇土市

過去に記録のある岩古曾町を含む雁回山周辺や宇城市松橋町に隣接する立岡町や松山町その他、宇土半島域などの耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は得られなかった。

確実な情報は得られなかったが、上記エリアにおいて自動撮影カメラを設置したが、アライグマは撮影されなかった。

また、調査期間途中で市民からの目撃情報が市に報告されたため、付近に自動撮影カメラ（宇土 21、宇土 22）を設置したが、アライグマは撮影されなかった。



地区環境（ため池）



地区環境（沢）



地区環境（寺社）



地区環境（水路に設置された暗渠）

3.5 宇城市

① 豊野町

過去に確認記録がある糸石地区を中心に、熊本市、甲佐町に隣接し、詳細な調査が未実施であったことから、侵入・定着している可能性も考慮し、豊野町広域の耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施した結果、確実な痕跡は確認されなかったが、地域住民（地元猟師）から糸石地区での目撃情報が得られた。

これまでの確認状況や目撃情報が得られた場所等を中心に、自動撮影カメラを設置したが、アライグマは撮影されなかった。

確認はされなかったが、松橋町での足跡の確認や氷川町での確認事例もあることから、付近に生息している可能性もあり、今後の状況に注意が必要である。



地区環境（沢）



地区環境（ため池）



地区環境（果樹園：ブドウ）



地区環境（耕作地：トウモロコシ）

② 松橋町

過去に確認記録がある曲野地区や竹崎地区を中心に耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施した結果、曲野地区の耕作地でアライグマの足跡が確認された。

これまでの確認状況や上記痕跡確認箇所等に自動撮影カメラを設置したが、アライグマは撮影されなかった。

足跡が確認された曲野地区は、過去に幼獣が確認されている箇所に近い。今回、撮影には至らなかったが、付近に個体が定着している可能性がある。



足跡



足跡確認地点（耕作地）



地区環境（ため池）



地区環境（沢）

③ 不知火町

不知火町ではこれまでに確実な生息情報は得られていないが、確認記録のある松橋町や三角町に囲まれていることから、特に松橋町に近い東側エリアを中心に耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は得られなかった。しかし、小曽部地区の水路において、前肢を欠損したイシガメが確認された。近年、各地でアライグマによるカメ類の四肢食害が報告^{注3}されており、今回のイシガメについてもその可能性が考えられた。

確実な情報は得られなかったが、アライグマの可能性のある事例が確認されたことから、周辺において自動撮影カメラを設置した結果、高良地区（不知火 06）においてアライグマが撮影された。撮影は10月の1回のみであり、分散中の移動個体が確認された可能性が高いと考えられる。

また、調査期間途中で、市に柑橘類の被害が報告され、アライグマによるものの可能性も疑われたため、付近に自動撮影カメラ（不知火 07）を設置したが、アライグマは撮影されなかった。



イシガメ前肢欠損個体



イシガメ確認地点（沢）



地区環境（耕作地・果樹園）



地区環境（ため池）

注3 「アライグマの食害を受けたと考えられるニホンイシガメ」（鈴木ほか，2015，爬虫両棲類学会報）

④ 三角町

過去に確認記録がある大多尾地区を中心に耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は得られなかった。

確実な情報は得られなかったが、これまでの確認状況等を考慮して、自動撮影カメラを設置した結果、波多地区（三角 04）においてアライグマが撮影された。三角 04 では2月12日～23日の間に計4回、3月21日に1回が撮影された。2月までは全く撮影されなかったことから、移動してきた新規侵入個体である考えられるが、繁殖期である2月から3月にかけて複数回確認されており、付近での捕獲報告もないことから、今後、定着・繁殖に至る可能性があり、十分に注意が必要である。



地区環境（ため池）



地区環境（沢）



地区環境（果樹園、水路）



地区環境（寺社）

3.6 玉東町

過去に確認記録がある、もしくは確認場所に隣接する地域を中心に耕作地や果樹園、沢、ため池、寺社などの環境でフィールドサイン調査やヒアリングを実施した結果、上木葉地区の工場敷地内でアライグマの足跡が確認された。

これまでの確認状況や上記痕跡確認箇所等に自動撮影カメラを設置した結果、稲佐地区（玉東 01）、木葉地区（玉東 02）、上木葉地区（玉東 03、06）の計 4 箇所ではアライグマが撮影された。

玉東 03 は工場内でノラネコ用に設置した餌に誘引している状況で、8 月に最大 5 頭が同時に撮影された。その後、撮影個体は減少したが、3 月まで 1～2 頭が頻繁に撮影された。8 月に撮影された 5 頭には恐らく幼獣が含まれており、その後一部の個体は分散したと考えられる。3 月にも 2 頭が撮影されていることから、繁殖ペアである可能性があり、今後の増加が懸念される。

玉東 01 は玉名市との境界に位置し、玉名市側からの侵入個体、もしくは玉東 03 等からの分散個体の可能性もある。同一個体かどうかは不明であるが、11 月～3 月にかけて撮影されていることから、当地に定着している可能性がある。

一方で、町南側ではアライグマは確認されなかった。しかし、過去には上白木地区での確認事例もあり、また、隣接する熊本市北区南部や西区では確認されていることから、生息している可能性はあり、今後の個体数増加には注意が必要である。



足跡



足跡確認地点



地区環境（ため池）



地区環境（沢）

3.7 その他の確認種

自動撮影カメラ調査の結果、アライグマを含む4目8科12種の哺乳類と6目9科12種の鳥類が確認された。確認種一覧を表3.30に示す。地点ごとの詳細は資料編に示す。

確認種のうち、タヌキ、キツネ、ニホンアナグマなどはアライグマと生息環境や餌資源を競合する種であり、今後アライグマが増加することで生息に影響を及ぼす可能性がある。また、熊本市と宇城市で確認されたフクロウはねぐらに樹洞を利用する種であるが、アライグマによる捕食被害やねぐら環境の競合が懸念される。

アライグマによる生態系への影響は不明点も多いため、アライグマ以外の生息種についても情報を収集、蓄積し、今後の変化をモニタリングすることが望ましい。

表 3.30 確認種一覧

No	分類	目名	科名	種名	熊本市	宇土市	宇城市	玉東町	備考	
1	哺乳類	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	●	●	●	●		
2		ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	ネズミ科	●	●	●			
3		ネコ目(食肉目)	アライグマ科	アライグマ	●		●	●	特定外来生物	
4			イヌ科	タヌキ	●	●	●	●		
5				キツネ	●	●	●	●		
6				ノイヌ	●		●			
7			イタチ科	テン	●	●	●	●		
8				イタチ属	●	●	●	●		
9				ニホンアナグマ	●	●	●	●		
10			ネコ科	ノネコ	●	●	●	●		
11			ウシ目(偶蹄目)	イノシシ科	イノシシ	●	●	●	●	
12				シカ科	ニホンジカ	●	●	●		
哺乳類合計 4 目 8 科 12 種					12	10	12	9		
1	鳥類	カモ目	カモ科	オシドリ		●			環境省 RL:DD	
2				マガモ		●	●			
3		ハト目	ハト科	キジバト	●		●			
4		ペリカン目	サギ科	ゴイサギ			●			
5				アオサギ			●			
6				コサギ	●					
7		チドリ目	シギ科	ヤマシギ	●		●			
8		フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	●		●		熊本県 RDB:VU	
9		スズメ目	カラス科	カラス類	●			●		
10			ヒヨドリ科	ヒヨドリ			●			
11			ヒタキ科	シロハラ	●		●			
12			チメドリ科	ソウシチョウ			●		特定外来生物	
鳥類合計 6 目 9 科 12 種					6	2	9	1		

※環境省 RL：環境省レッドリスト 2020

DD：情報不足

※熊本県 RDB：レッドデータブックくまもと 2019-熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物-

VU：絶滅危惧 II 類

4. 考察

4.1 熊本県内におけるアライグマの確認状況整理

熊本県が公表している今年度の県内におけるアライグマの確認状況を整理すると、今年度は業務開始当初（令和3年6月23日時点での公表値）で10例の確認が報告されていたが、令和4年3月4日時点では71例と過去最高の確認数となっている。特に山鹿市、菊池市、玉東町、熊本市等の県北部域に確認が偏っているが、今年度新たに氷川町で確認される等、県南域での分布拡大も進んでいる。令和4年3月4日時点での熊本県内におけるアライグマ確認状況一覧を表4.1に、確認事例数の推移を図4.1に示す。

また、本業務での履行場所である3市1町での推移を以下に示す。

表 4.1 熊本県内におけるアライグマの確認状況

（令和4年3月4日時点）

市町	確認年度												
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 /R1	R2	R3	合計
荒尾市				1									1
南関町								2	2				4
和水町									3		1	2	6
玉名市					1		1	1	11	13			27
山鹿市						1	3	1	5	3	6	5	24
菊池市					1				2		7	9	19
玉東町									10	2	3	18	33
熊本市	1							3	9	19	44	29	105
大津町									1				1
菊陽町											1		1
益城町							1				1		2
御船町		1	1										2
甲佐町											1		1
宇土市									1				1
宇城市						1		2			1	5	9
氷川町												2	2
小国町					4								4
高森町						1				1			2
南阿蘇村													1
山都町								1					1
芦北町											1		1
水俣市											1		1
天草市									1				1
合計	1	1	1	1	6	3	5	10	45	38	67	71	249

※塗りつぶし箇所は本業務における履行場所を示す。

※確認事例の計数方法が異なるため、本業務における確認事例数とは合致しない。

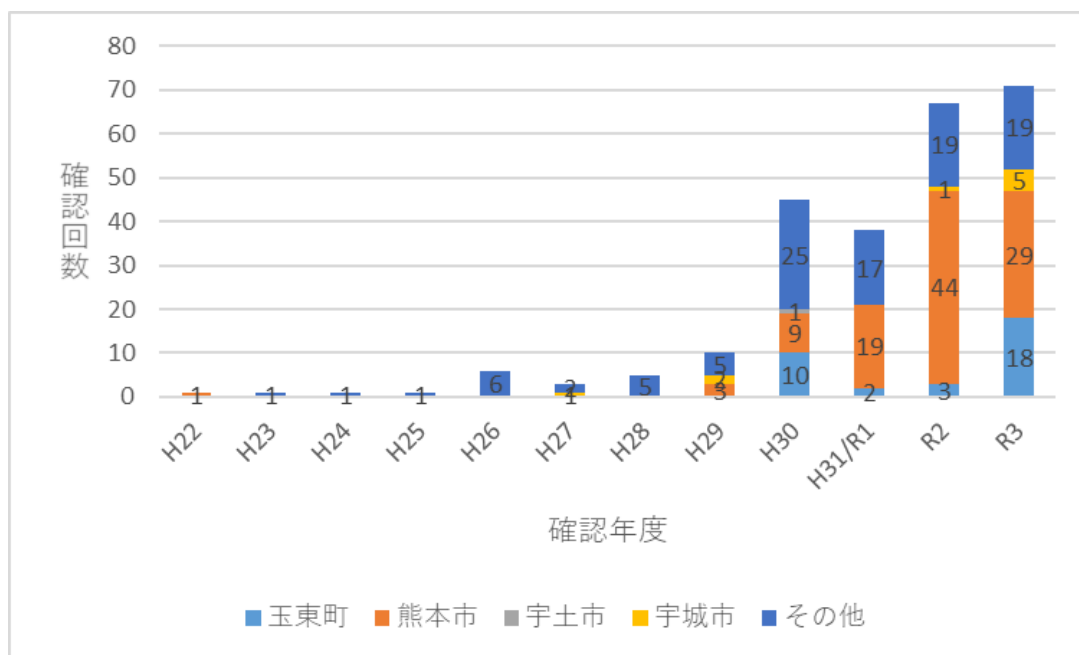


図 4.1 県内におけるアライグマ確認事例数の推移

(1) 玉東町

玉東町では平成 30 年度に確認されて以降、確認が続いている。継続的な調査は未実施であることから、確認事例数の比較はできないが、今年度は過去最高の確認事例数であった。本業務では 4 箇所アライグマが確認されたが、全て国道 208 号線よりも北側の木葉山麓部であった。木葉山周辺では、複数個体の定着が確認されており、今後も生息数の増加が懸念される。また、このエリアで増加した個体が分散し、分布域を拡大させる場所にもなり得る。今回の調査では国道 208 号線より南側では確認はされなかったが、過去には捕獲事例もあり、さらに南の熊本市西区でも確認されていることから、木葉山周辺からの南下個体、熊本市西区からの北上個体など、新規侵入個体の定着、個体数の増加が懸念される。

(2) 熊本市

熊本県公表データにおける熊本市での確認数は 29 例と昨年度（44 例）に比べると若干の減少が見られた。しかし、集計が 3 月 4 日時点であり、その後も確認が報告されていることから、昨年度に近い数になると考えられる。

生息状況調査での確認例数の推移を見ても、今年度調査は昨年度に比べ北区での確認が減少傾向であったが、西区での確認数が大きく増加した。定着・個体数増加エリアが確実に南下拡大していることが示唆される。北区では確認数は減少したが、新たな場所での確認も増えており、木葉山を中心に確実に分布拡大が進行している。今後はさらに広域での調査を実施し、生息状況の把握を実施することが望ましい。生息状況調査における確認状況の経年推移を表 4.2、図 4.2 に示す。

表 4.2 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（熊本市）

年度	地区	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数※	アライグマ 撮影回数	撮影頻度 (回/日)
平成 28 年度	合計	13	0	761	0	0.0000
	北区	5	0	276	0	0.0000
	西区	4	0	254	0	0.0000
	南区	3	0	194	0	0.0000
	東区	1	0	37	0	0.0000
平成 29 年度	合計	15	2	1772	6	0.0034
	北区	9	1	904	5	0.0055
	南区	6	1	868	1	0.0012
平成 30 年度	合計	23	5	3816	10	0.0026
	北区	12	3	1765	6	0.0034
	西区	3	1	588	1	0.0017
	南区	8	1	1463	3	0.0021
令和元年度	合計	28	5	3749	15	0.0040
	北区	10	5	1454	15	0.0103
	西区	5	0	710	0	0.0000
	南区	13	0	1585	0	0.0000
令和 2 年度	合計	25	11	3533	38	0.0108
	北区	17	11	2310	38	0.0165
	西区	7	0	1112	0	0.0000
	南区	1	0	111	0	0.0000
	東区	1	0	110	0	0.0000
令和 3 年度	合計	27	9	4904	25	0.0051
	北区	14	8	2580	15	0.0058
	西区	6	2	954	10	0.0105
	南区	7	0	1370	0	0.0000

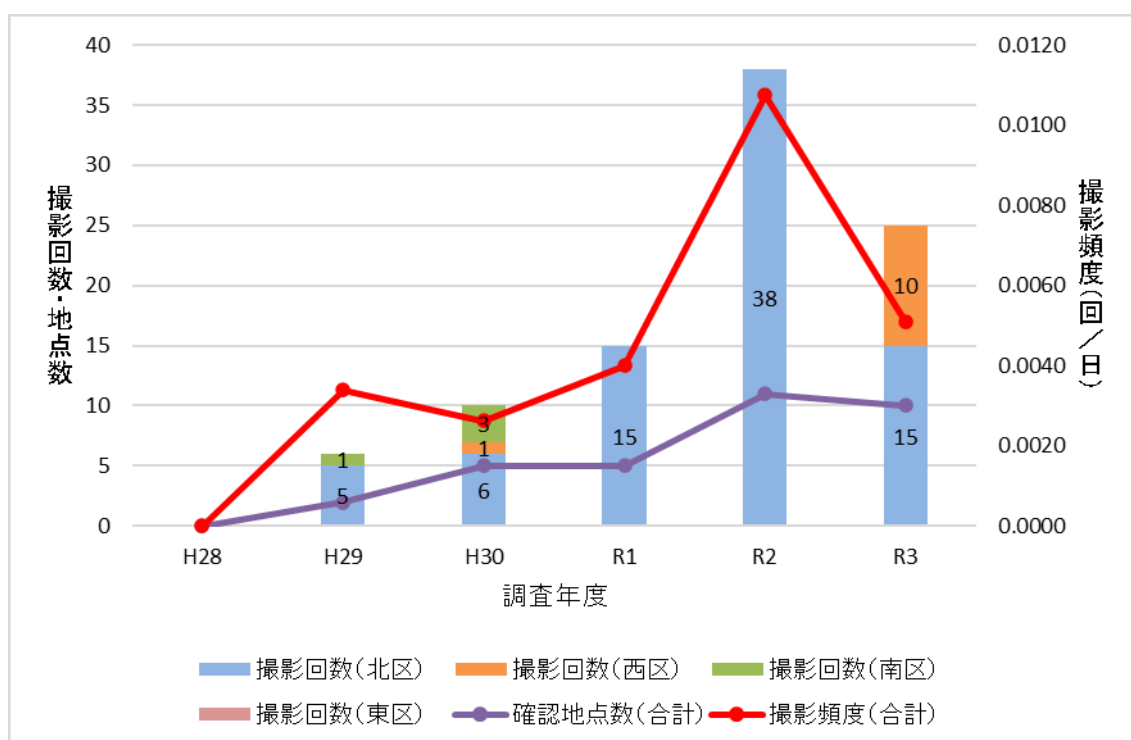


図 4.2 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移（熊本市）

(3) 宇土市

宇土市ではこれまでに平成 30 年度に 1 例の確認があるのみであり、本業務においても確認はされなかった。このことから、宇土市内におけるアライグマの生息個体数は非常に少ないと考えられるが、これまで継続的な調査は未実施であることから、詳細は不明である。隣接する熊本市、宇城市では確認されていることから、現状で生息個体数が少なくとも、新たに侵入し、増加する可能性は高いと考えら、注意が必要である。

(4) 宇城市

宇城市では平成 27 年度に確認されて以降、断続的に 1～2 例が確認されており、今年度は 5 例と最も多い確認事例数となった。これまで継続的な調査は未実施であることから、詳細は不明であるが、本業務において松橋町（足跡のみ）、不知火町、三角町と広域で確認されており、また、過去に幼獣が確認されていることから、付近で繁殖個体が生息している可能性は高く、調査を実施することでさらに確認数が増加する可能性もある。また、令和 3 年 10 月と 12 月に氷川町で確認されていることから、宇城市南部での生息可能性もあり、今後はさらに範囲を拡大し、状況把握に努めることが望ましい。

4.2 アライグマ確認環境の傾向

今年度調査においては、熊本市 10 箇所、宇城市 3 箇所、玉東町 4 箇所の計 17 箇所でアライグマが確認された。各地点における確認環境を表 4.3 及び表 4.4 に示す。

確認地点の各環境を見ると、大半が水辺付近（沢・水路沿い：10 地点、ため池脇：6 地点）であった。カメラ設置地点の多くが水辺付近であることも影響していると考えられるが、水辺を移動経路や餌場環境として利用する本種の生態を反映したものと考えられる。周辺に耕作地（水田）や果樹園（柑橘類、カキ）が存在する地点も多く、カエル類や果樹等の餌場環境としての利用が考えられる。

また、玉東町では工場敷地内で確認された。屋外に置かれたノラネコ用の餌に誘引されており、餌場環境としての利用が確認された。また周囲の樹林内には工場に繋がる沢もあり、こういった環境を利用して、山林内と工場敷地内を往来していると考えられる。

今後も水辺環境を中心に餌場となり得る複合的な環境に着目し、モニタリングを実施するほか、地域ネコの活動やペット用の餌を屋外に置いている箇所等での情報収集を実施することもアライグマの確認に繋がると考えられる。特に市街地においては、自動撮影カメラの盗難など、長期的に調査を実施することが困難な場合もあり、こういった情報収集は有効と考えられる。

表 4.3 アライグマ確認地点の環境一覧

市町	地点名	環境		
熊本市	北 01	沢	植林	果樹園
	北 02	沢	植林	果樹園
	北 03	沢	竹林	果樹園
	北 07	ため池	竹林	
	北 08	ため池	植林	耕作地
	北 11	ため池	竹林	耕作地
	北 12	沢	竹林	
	北 13	沢	広葉樹林	竹林
	西 01	沢	竹林	果樹園
	西 03	沢	植林	耕作地
宇城市	松橋 02	耕作地	竹林	水路
	不知火 06	ため池	竹林	水路
	三角 04	ため池	植林	
玉東町	玉東 01	沢	竹林	
	玉東 02	ため池	植林	
	玉東 03	工場	植林	
	玉東 06	沢	植林	耕作地

表 4.4 アライグマ確認環境一覧 (1/2)

熊本市 北 01 	熊本市 北 02 
熊本市 北 03 	熊本市 北 07 
熊本市 北 08 	熊本市 北 11 
熊本市 北 12 	熊本市 西 01 

表 4.4 アライグマ確認環境一覧 (1/2)

熊本市 西 03 	宇城市 松橋 01 
宇城市 不知火 06 	宇城市 三角 04 
玉東町 玉東 01 	玉東 02 
玉東町 玉東 03 	玉東町 玉東 06 

4.3 今後のアライグマ対策

(1) モニタリング調査の継続

本業務では、熊本市、宇土市、宇城市、玉東町の隣接する3市1町で調査を実施し、このうち熊本市、宇城市、玉東町でアライグマが確認された。宇土市、宇城市、玉東町では、これまで広域での調査は未実施であり、既存情報が少ない状況下での調査実施となった。今回、広域での調査を実施したことによって、全体的な初期値を取得できたと考えられる。今後は、こういった広域での生息状況調査を継続し、アライグマの詳細把握を実施することが望まれる。特に、生息が確認された地点については、当地で定着し、繁殖しているかどうかの把握は非常に重要となる。今後は出来る限り早期での調査を実施し、繁殖状況の把握にも努めることが望ましい。

また、今回の調査で確認回数が少なかった場所に関しては、周囲の状況を探査し、生息状況の把握に努めることも重要である。

(2) 普及啓発活動の実施

今回の調査時に地域住民に対し情報収集を目的としたヒアリングを実施することが多数あったが、「アライグマ」という動物名は分かるものの、県内に生息していることを知らないという状況や、「アナグマ」などの他動物と混同していることが多く、アライグマに関する知識不足が感じられた。今後、分布拡大や個体数の増加が進むと、市街地への進出も進み、人目に付く機会も増加すると考えられる。広く市民に向けた普及啓発活動を実施し、「アライグマの特徴」や「識別点」、「県内（市内）における状況」等を周知する機会を設け、アライグマの侵入にいち早く気付くことができる体制構築が望まれる。

5. 打合せ及び報告

打合せは着手時、中間時、取りまとめ時の計3回実施した。打合せ一覧は表5.1に示し、記録簿は資料編に示す。

表 5.1 打合せ一覧

実施日	打合せ内容	備考
令和3年8月2日（月）	業務の進め方について	第1回打合せ（着手時）
令和4年2月2日（水）	業務進捗の報告	第2回打合せ（中間時）
令和4年3月24日（木）	結果報告及び報告書記載内容について	第3回打合せ（取りまとめ時）